

ご当地自慢

御嶽の里 三岳

45

木曾森林管理署

御嶽の里三岳は、長野県西部の木曾町にあり、平成十七年十一月に四町村が合併し木曾町となる以前は三岳村と呼ばれていました。三岳という名前の由来は、御嶽山・乗鞍岳・木曾駒ヶ岳の三つの名峰が見られることから名付けられたと言われています。今回のご当地自慢は、御嶽の麓に広がる美しき三岳の見所を紹介します。

◇油木美林（黒沢御岳国有林）

御嶽山の裾野に広がる油木美林は、かつて尾張藩の藩有林、そして御料林、国有林と変遷をたどってきました。樹齢三百年を超える木曾ヒノキ、サワラなどの大木が生い茂る森には、遊歩道が整備されています。



この遊歩道は、こもれびの滝、不易の滝や百間

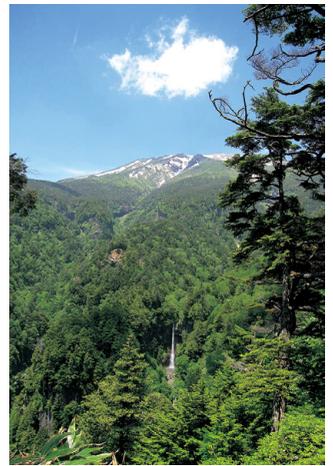


滝などを眺めながら御嶽山の七合目まで続いています。（こもれびの滝から続く心臓破りの九十九折りの歩道にぜひ挑戦してみてくださいいかがでしょう。）

御嶽山が育んだ水や緑に触れながら森林浴・バードウォッチングなどを満喫することができます。

◇御岳ロープウェイ

全長二、三三三メートル、三岳高原から七合目までを結ぶ六人乗りの「空の足」。標高二、一五〇メートルの山頂駅舎からは、木曾駒ヶ岳をはじめとする中央アルプスのほか、乗鞍岳、穂高岳、槍ヶ岳、八ヶ岳、浅間山などの大パノラマが楽しめます。また、春から秋へと移り変わる四季それぞれの美しい景観も魅力的で、山頂駅からは御嶽山や油木美林へのアクセスにも便利です。



◇百間滝

油木美林から少し上がったところにこの滝があります。周囲の樹木の高さから推測すると落差は五十メートルありそうです。御嶽山からの雪解け水が白い筋となり落ちる風景に心が洗われるようです。

◇不易の滝

名前の由来である不易とは、永遠にその姿を変えないという意味であり、太古の時代からその「容姿をかえぬ」と名付けられたのも納得です。不易の滝を眺めると、まさに太古の昔にタイムスリップした気分になり、自然の偉大さに感動させられます。また、この滝の近くにはこもれびの滝があり、違った魅力を持つ滝も見ることができます。



◇太陽の丘公園

太陽の丘公園は、太陽系から地球が生まれて生命誕生までの悠久の歴史をイメージして造られたテーマパークです。「原始の地球」「太陽の丘」「生き物の移り変わり」の三つのゾーンから形成されており、御嶽山産出の巨石などを用いて地球に生物が登場してから現在までの生物の進化を表現しています。



○木曾町三岳へのアクセス（御岳ロープウェイ）

・公共交通機関

・JR中央線木曾福島駅からバスで六十分

分

・自動車

中央道中津川ICから車で百二十分、中央道伊那ICからで八十分